

令和元年度第4回長府警察署協議会会議録

開催日時	令和2年2月14日（金） 15時00分から17時00分まで	
開催場所	長府警察署講堂	
出席者	委員	高野則和、松村通世、村田善昭、金田豊和、菊地順子、 石田 亘、宅野美智子、平山一美、田尾容子 <div style="text-align: right;">計9人</div>
	警察署	署長、副署長、主幹兼会計課長、警務課長、生活安全課長、 地域第一課長、刑事課長、交通課長、警備課長 <div style="text-align: right;">計9人</div>
議題	効果的なうそ電話詐欺被害防止情報の発信	
<p>1 会長挨拶 忙しい中、集まっていたいただいたことに対して、まずもって感謝を申し上げる。 昨日、署生活安全課の取組として行われた広報活動に私も参加し、うそ電話詐欺被害防止等のチラシを配布した。このような地道な活動が犯罪抑止につながると思うので、委員の皆さんも、この種の活動には積極的に参加していただきたい。 今回の協議会は、会議の後にうそ電話詐欺の被害防止を題材とした寸劇を見せていただけるとのことなので、楽しみにしている。会議や寸劇ともに、忌憚のない活発な意見や提言が出ることを期待している。</p> <p>2 署長挨拶 （省略）</p> <p>3 業務説明 資料に基づき、署長が各部門の活動状況等について説明した。</p> <p>(1) 警務課関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 警察安全相談 イ 警察署協議会の活動 ウ 警察官採用に向けた取組 エ 職場環境の整備 <p>(2) 生活安全課関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 刑法犯認知件数 イ うそ電話詐欺の被害状況 ウ 被害防止対策 		

(3) 地域課関係

- ア 刑法犯認知状況
- イ 交通事故発生状況
- ウ 110番・署通報の受理状況
- エ 地域警察官による検挙状況
- オ その他の活動

(4) 刑事課関係

- ア 刑法犯認知・検挙状況
- イ うそ電話詐欺の発生状況

(5) 交通課関係

- ア 交通事故発生状況
- イ 令和2年 当署の交通死亡事故抑止総合対策

(6) 警備課関係

- ア 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に伴う広報啓発活動の実施
- イ 3市合同防災図上訓練への参加
- ウ 新型コロナウイルス対策

4 諮問事項

効果的なうそ電話詐欺被害防止情報の発信

5 意見・要望

(委員)

うそ電話詐欺の被害防止のため、“戸別訪問隊”を作って活動していると報告があったが、どのような活動を行っているのか。

(生活安全課長)

この活動は、ボランティアの方々の方に頼る部分が多く、定期的なものではなく不定期に行っている。ボランティアの方々と同世代の高齢者に対して、“フェイス TO フェイス”で、また、同じ視点から注意を呼び掛けてもらおうという趣旨で始めたものである。

この取組はまだ始めたばかりであり、試行錯誤しながら行っているところであるが、「ここは、こうした方が良い」という意見に耳を傾けながら、より効果のある取組に発展させていきたいと考えている。

(委員)

先日、私も戸別訪問隊の一員として高齢者宅を訪問し、受話器に設置する防犯グッズを配布した。協力は惜しまないので、私たちのようなボランティアを、遠慮なく大いに活用していただきたい。

(生活安全課長)

心強いお言葉であり感謝申し上げます。今後も、引き続きご協力願う。

(委員)

「知らない電話番号には出ない」ということが世間に浸透してきているからか、

営業で新しいお客さんに電話を架けても、初めは電話に出てもらえないことが増えた。営業的にはやりづらい時代になったが、防犯的には良いことだと実感している。

(委員)

うそ電話詐欺は、詐欺師グループとの知恵比べだと思うので、新たな手口が確認された場合には、どのように対応すれば防止できるのかということを中心に且つ迅速に広報してほしい。

(委員)

実際に私の家にも架空請求のはがきが来たので、自治会の会合の場で、「こういうのはがきには注意しましょうね」と現物を見せたこともある。そのほか、高齢者を狙った詐欺が横行しているように感じる。認知症に効果があると偽って極めて高額な薬を売りつける悪徳業者がいるという話もある。会合等のいろいろな場を設けて、高齢者が被害に遭わないように情報を発信してほしい。

(署長)

家族と一緒に住んでいる方や、自治会の活動に参加している方には、被害防止のための情報が比較的伝わり易い。その一方、高齢者夫婦のみの世帯や独居世帯には情報が伝わりにくいという面がある。戸別訪問隊は、そうした情報が伝わりにくい世帯をターゲットとし、地区のボランティアの方々の協力を得て訪問の上、注意喚起していこうという発想から生まれたものである。今後も、こうした活動を通じて、うそ電話詐欺の被害防止に向けた情報を迅速・適切に発信することとしている。

(委員)

やはり、警察官の姿を街の中で多く見せることが一番効果的だと思う。高齢者宅付近で警察官の制服姿を見掛けた詐欺師は詐欺を諦めるだろうし、パトカーを見掛けたら、悪いことをしようとしている者は犯行を思い留まるかもしれない。

(署長)

仰るとおりで、いわゆる“見せる活動”を強化して犯罪を抑止するよう、署員には徹底している。

(委員)

うそ電話詐欺被害防止の寸劇を見せてもらえるとのことだが、対策の一環として、こうした取組も必要だと思う。依頼すれば現地でも演じてもらえるのか。

(生活安全課長)

今は少ない人員で寸劇に取り組んでいるため、業務の都合上、ご希望に沿えない日があるかもしれないが、可能な限り出向かせていただくので連絡をお願いします。

(委員)

是非とも、地区の敬老会の場等で演じていただきたい。

(署長)

寸劇の出演者も、被害防止のために頑張っている。私自身も広報効果は抜群だと思っているので、活用願いたい。

現金被害の犯罪として代表的なものには窃盗、横領、詐欺の三つがあり、窃盗の占める割合が平成12年では86.4%と高かったが、現在は詐欺が主流になっており、現金被害では詐欺が7割以上を占めている。これは、犯罪者らが人前に入る

リスクを嫌って、電話等を使用した詐欺にシフトしたものと考えられ、今後も、この種の犯罪が増加することが予想されることから、適宜適切に対応してまいりたい。

(委員)

豊田地区には、幹線道路の白線が消えかかっている場所が多いが、改善してもらうにはどこに言えば良いのか。

(交通課長)

警察に言うだけであれば改善に必要な手続きを執る。車の往来が激しい幹線道路は、どうしても白線が消えるのが早い。ただし、必要に応じて改善のための優先順位がつくことは了承願いたい。

(委員)

長府警察署の令和元年中の110番通報の件数が前年より増加しているということだが、これは良いことなのか、それとも悪いことなのか。私は、市民が警察を頼りにしている証拠であり、良いことだと思う。

(地域課長)

刑法犯認知件数が減少している中で、110番通報の受理件数が増加しているということは、110番通報に関する広報が浸透している証拠だと思われる。警察に対する信頼感のバロメーターだと考えているので、何かあった際は積極的に110番通報を活用していただきたい。

(委員)

民生委員の活動で高齢者の家を訪問した際、家の中から反応がない場合にはドキドキする。こうした場合には、警察に通報しても良いのか。

(署長)

安否確認の際には、特に迅速に対応させている。命に関わる事態が発生しているかもしれないので、こういう場合は、遠慮なく通報をお願いします。

6 配付資料

業務説明資料

7 次回協議会の開催日程

次回開催は、会長、副会長及び各委員と日程調整の上で決定する。